

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 2 年 4 月 29 日現在

機関番号：62608

研究種目：基盤研究(B) (海外学術調査)

研究期間：2014～2019

課題番号：26300020

研究課題名(和文) 在外絵入り本を中心とする書誌・出版・解釈の総合的研究

研究課題名(英文) Comprehensive research on bibliography, publication and interpretation centered on overseas picture books

研究代表者

山下 則子 (YAMASHITA, Noriko)

国文学研究資料館・研究部・教授

研究者番号：40311162

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,400,000円

研究成果の概要(和文)： 国外に大量に存在する日本古典籍は、未整理で放置されているものがある。本研究は、未整理であったホノルル美術館リチャード・レインコレクションの日本古典籍の調査を行い、珍しい本に関する研究を行った。また、未整理であったイタリアの4箇所に存在する日本古典籍の調査を行い、その目録を作成した。そして4つの目録には、書名索引をつけた。また珍しい本の紹介と研究も行った。

それらの場所の日本文学研究者を対象として、日本古典籍に関する研究発表を行った。また、その場所に近い大学の学生や学芸員に、日本古典籍に関する基本的な講習会も実施した。そしてそれらの大学と、交流協定を結んだ。

研究成果の学術的意義や社会的意義

日本の文化遺産である浮世絵と絵入り本は、その多くが海外に存在する。それらの在外資料は、浮世絵は明らかになっているが、絵入り本に関しては放置されている。本研究はそうした在外絵入り本に関して、イタリア4箇所の日本古典籍を調査して目録を作成し、またホノルル美術館リチャード・レインコレクションの調査を重ね、その中の重要な書物に関する研究を明らかにしたものである。イタリアの4箇所の目録には、共通した書名索引もつけた。

また、所蔵先の学芸員や近隣大学の研究者・大学院生を対象として、日本古典籍に関する研究会や講義も開催し、大変好評であった。

研究成果の概要(英文)： There are a large number of Japanese classical books that exist outside Japan, but some are left unorganized. In this study, we conducted a survey of the Japanese classic books of the Richard Rain Collection, which had not been organized yet, and conducted research on rare books. In addition, we conducted a survey of the Japanese classical books existing in four places in Italy, which had not been sorted out, and made a list of them. And the four catalogs have a title index. We also introduced and studied rare books.

We made a research presentation on Japanese classical books for researchers of Japanese literature in those places. We also held a basic seminar on classical Japanese books for students and curators at universities near the site. And made exchange agreements with those universities.

研究分野：日本文学

キーワード： 在外絵入り本 リチャード・レインコレクション ホノルル美術館 マリオ・マレガ文庫 キヨッソー
ネ東洋美術館 日本古典籍目録 イタリア在日本古典籍 日本古典籍の調査

1. 研究開始当初の背景

日本の誇るべき文化遺産である浮世絵と絵入り本は、その多くがヨーロッパやアメリカに存在する。ゴッホやモネへの影響などから、在外浮世絵は早くから注目され、在外浮世絵を対象とする美術書の出版も数多くなされている。

その一方で在外絵入り本に対する社会の関心は薄く、整理も調査もされていない箇所も少なくない。日本古典籍は、変体仮名で書かれているため、海外学芸員には内容を理解するのは難しく、整理も調査も進まない箇所が多いのである。そのため在外絵入り本は、売却されたり、廃棄される場合もある。

在外日本古典籍の中には、日本国内では見られない貴重なものも含まれており、これらを研究対象にすることは、日本古典籍研究においては必要不可欠なことである。場合によっては、現在の文学研究・美術研究を塗り替えるような発見があることもある。そして同時に、海外で所蔵されている日本古典籍を、調査・整理し、それを題材とするシンポジウムを開催することにより、現地における日本文化伝達のツールとなり、世界に於ける日本古典籍の存在意義を高めることにもなる。

2. 研究の目的

詳細が明らかになっていない在外絵入り本について、特にイタリアのジェノバ市キオッソーネ東洋美術館をはじめ、ローマのサレジオ大学マリオ・マレガ文庫、ナポリ国立図書館ルッケージ・パッリ文庫、ヴェネチア東洋美術館の、4箇所在所蔵される日本古典籍の整理と調査を行って目録を作成する。そしてその中の稀覯本については、書誌や版種などを明らかにし、その古典籍の意義を明確にする。また、ハワイのホノルル美術館リチャード・レインコレクションの日本古典籍を整理・調査する中で発見した稀覯本を対象として、書誌等を明らかにし、その上で本文や挿し絵を研究する。

そして文学研究・美術研究及び出版の観点から、分野を超えた共同研究を行い、日本古典籍研究の新たな視点を開拓する。またそれらの共同研究会には、イタリアやアメリカの日本文学研究者の参加を促し、特に所蔵国大学の若手研究者に、研究方法などを示すことにより、現地の日本古典籍に対する興味関心と研究対象としての可能性を示すことが目的である。

3. 研究の方法

本研究は、次のような方法で実行される。

在外日本古典籍資料の調査・収集(デジタル写真撮影)。日本古典籍が所蔵され未整理である文庫に、何人かの研究者が調査隊を組んで出かけ、書誌カードを取る。その調査結果に基づき、日本古典籍目録を作成する。目録作成の過程で、多くの参考文献に基づき、書誌的事項などの調査を並行して行うことにより、調査先に再度赴いての確認、訂正、加筆を行う。なお、この作業には膨大な労力を要するが、研究代表者は1998年度より約20年以上、この作業を続けており、既に在伊日本古典籍目録集成は完成の域に近づいている。

個別研究の実施。調査を行う中で、科研分担者や協力者である調査員は、それぞれの専門分野に応じて新しい発見をする場合がある。毎年の調査と並行して、調査員は個別に各自の研究を深めていくことになる。

各調査員の発見や研究を、共通認識のものとするために、文学・美術・出版からの総合的共同研究会を1年に1度実施する。そこでの発表は各自が雑誌等に載せても構わないが、共同研究会にての発表を経てからのものとする。なお、未調査文庫の調査過程での発見は、様々な調査グループが混在する中では、その発見・発表を廻り争いになる可能性もあるため、分かる限りの他の調査グループに事前に相談した上で、公開発表するものとする。

本研究による成果発表は、在伊日本古典籍目録集成の作成と書名索引作成、在外絵入り本に関する研究成果の発表(研究成果物の出版)という方法で実施される。また、追加資料の調査を行い、目録内容を追加して完成させたマリオ・マレガ文庫目録は、サレジオ大学の許可を得て国文学研究資料館 HP より公開する。

4. 研究成果

研究成果報告書『在外絵入り本 研究と目録』(2019年10月刊、三弥井書店、385頁)を出版し、4箇所在外日本古典籍目録の集成を完成させ、全所蔵箇所の書名索引を作成した。更に、ホノルル美術館リチャード・レインコレクションの稀覯本を中心とする研究論文を7本掲載した。この研究成果報告書を出版するにあたり、先行してリチャード・レインコレクションの調査に入っていた九州大学を中心とするメンバーには、事前にその発表内容について相談、了解を得てから行った。そして、その成果物は国内の関係研究者、在外日本古典籍所蔵箇所、在外日本古典籍所蔵国の研究者、在外日本古典籍を専門とする研究者に広く配布した。特に在外日本古典籍所蔵国の大学図書館に備えて貰うように送付した。

イタリア、ローマのサレジオ大学マリオ・マレガ文庫の日本古典籍調査を完成させ、追加資料に関しても、整理・調査を行った。更にその日本古典籍目録は、サレジオ大学の許可を得て国文学研究資料館HPより公開した。また、イタリアの日本文学研究者達とともに、マリオ・マレガ文庫での共同研究会を開催し、稀覯本である絵入り本に関する研究発表を行って日本古典籍の魅力を紹介した。

ホノルル美術館リチャード・レインコレクションの日本古典籍調査を行い、それを活用して現地日本文学研究者達への還元を行った。具体的には、ハワイ大学の教職員や大学院生及びアメリカ・カナダから参加した日本文学研究者達を対象として、国際共同研究会を開催し、レインコレクション稀覯本を用いたプレゼンテーションを行った。これらの研究成果の現地での還元は大変好評であり、調査隊はハワイの日本大使館からの招待を受け、賞揚された。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計15件（うち査読付論文 13件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 2件）

| | |
|--|--------------------|
| 1. 著者名 浅野秀剛 | 4. 巻 0 |
| 2. 論文標題 絵入折手本 レインコレクションをめぐって | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 在外絵入り本 研究と目録 | 6. 最初と最後の頁 3-18 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 浅野秀剛 | 4. 巻 0 |
| 2. 論文標題 ボストン美術館蔵、北斎筆、未刊読本挿絵「大日本將軍記初輯」について | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 在外絵入り本 研究と目録 | 6. 最初と最後の頁 117-127 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------|
| 1. 著者名 伊東善隆 | 4. 巻 0 |
| 2. 論文標題 『たまひろひ』と『山城名勝風月集』、そして『都名所画譜』 絵俳書の板木再利用 | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 在外絵入り本 研究と目録 | 6. 最初と最後の頁 19-40 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 伊東善隆 | 4. 巻 0 |
| 2. 論文標題 桃隣舎文辰著『〔池西言水四季独吟評釈〕』について 近世後期における元禄俳諧評釈 | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 在外絵入り本 研究と目録 | 6. 最初と最後の頁 41-70 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 二又淳 | 4. 巻 0 |
| 2. 論文標題 ホノルル美術館蔵黄表紙『積孝雪振袖』(『敵討政五郎話』)影印・翻刻 | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 在外絵入り本 研究と目録 | 6. 最初と最後の頁 71-89 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|----------------------|
| 1. 著者名 山下則子 | 4. 巻 0 |
| 2. 論文標題 レインコレクション『獣絵本つくし』の研究 | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 在外絵入り本 研究と目録 | 6. 最初と最後の頁 92-116 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 山下則子 | 4. 巻 0 |
| 2. 論文標題 マリオ・マレガ文庫蔵黒本『眉間尺』 | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 在外絵入り本 研究と目録 | 6. 最初と最後の頁 129-140 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名 山下則子 | 4. 巻 0 |
| 2. 論文標題 サレジオ大学マリオ・マレガ文庫日本書籍目録 | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 在外絵入り本 研究と目録 | 6. 最初と最後の頁 3-95 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|----------------------|
| 1. 著者名 山下則子 | 4. 巻 0 |
| 2. 論文標題 ヴェネチア東洋美術館所蔵日本書籍及び関連資料目録 | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 在外絵入り本 研究と目録 | 6. 最初と最後の頁 99-131 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 山下則子 | 4. 巻 0 |
| 2. 論文標題 ナポリ国立図書館ルッケージ・パッリ文庫所蔵日本書籍目録 | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 在外絵入り本 研究と目録 | 6. 最初と最後の頁 135-156 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 山下則子 | 4. 巻 0 |
| 2. 論文標題 キオッソーネ東洋美術館所蔵主要近世絵本解題 | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 在外絵入り本 研究と目録 | 6. 最初と最後の頁 159-169 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 山下則子 | 4. 巻 0 |
| 2. 論文標題 キオッソーネ東洋美術館日本書籍目録 | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 在外絵入り本 研究と目録 | 6. 最初と最後の頁 170-219 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名 山下則子・ロバート キャンベル | 4. 巻 36 |
| 2. 論文標題 キオッソーネ東洋美術館所蔵日本古典籍目録 | 5. 発行年 2016年 |
| 3. 雑誌名 調査研究報告 | 6. 最初と最後の頁 208-279 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 高橋則子 | 4. 巻 41 |
| 2. 論文標題 土佐浄瑠璃六段本『京太郎』 | 5. 発行年 2015年 |
| 3. 雑誌名 演劇研究会 会報 | 6. 最初と最後の頁 43-69 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------|
| 1. 著者名 浅野秀剛 | 4. 巻 194 |
| 2. 論文標題 ホノルル美術館のミッチェナーコレクションとレインコレクション | 5. 発行年 2016年 |
| 3. 雑誌名 美のたより | 6. 最初と最後の頁 1-2 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

〔学会発表〕 計7件(うち招待講演 1件/うち国際学会 3件)

| |
|---|
| 1. 発表者名 山下則子 |
| 2. 発表標題 マレガ文庫の日本古典籍 |
| 3. 学会等名 MARIO MAREGA TESTIMONE DEL ' 900 |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|-----------------------------|
| 1. 発表者名 伊藤善隆 |
| 2. 発表標題 絵俳書版木の再利用 |
| 3. 学会等名 HML国際共同研究会（国際学会） |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|-----------------------------|
| 1. 発表者名 浅野秀剛 |
| 2. 発表標題 絵入折手本、絵半切、菓子袋 |
| 3. 学会等名 HML国際共同研究会（国際学会） |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 山下則子 |
| 2. 発表標題 『獣絵本つくし』の背景にあるもの |
| 3. 学会等名 日本古典籍セミナーホノルル2018（招待講演）（国際学会） |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 伊藤善隆 |
| 2. 発表標題 桃隣舎文辰著『〔池西言水四季独吟評釈〕』について 近世後期における元禄俳諧評釈 |
| 3. 学会等名 在外絵入り本を中心とする書誌・出版・解釈の総合的研究共同研究会 |
| 4. 発表年 2017年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 伊藤善隆 |
| 2. 発表標題 『たまひろひ』と『山城名勝風月集』 絵俳書の板木再利用 |
| 3. 学会等名 在外絵入り本を中心とする書誌・出版・解釈の総合的研究共同研究会 |
| 4. 発表年 2015年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 浅野秀剛 |
| 2. 発表標題 絵半切と清書巻について |
| 3. 学会等名 在外絵入り本を中心とする書誌・出版・解釈の総合的研究共同研究会 |
| 4. 発表年 2015年 |

〔図書〕 計3件

| | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 著者名 浅野 秀剛 | 4. 発行年 2017年 |
| 2. 出版社 講談社 | 5. 総ページ数 320 |
| 3. 書名 浮世絵細見 | |

| | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 著者名 山下則子 | 4. 発行年 2019年 |
| 2. 出版社 三弥井書店 | 5. 総ページ数 385 |
| 3. 書名 在外絵入り本 研究と目録 | |

〔産業財産権〕

〔その他〕

6. 研究組織

| | 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号) | 所属研究機関・部局・職 (機関番号) | 備考 |
|-------|---|---|----|
| 研究分担者 | 神作 研一 (KANSAKU KENICHI) (30267893) | 国文学研究資料館・研究部・教授 (62608) | |
| 研究分担者 | 木越 俊介 (KIGOSHI SYUNSUKE) (80360056) | 国文学研究資料館・研究部・准教授 (62608) | |
| 研究分担者 | 武井 協三 (TAKEI KYOZO) (60105567) | 国文学研究資料館・その他部局等・名誉教授 (62608) | |
| 研究分担者 | 小林 健二 (KOBAYASHI KENZ1) (70141992) | 国文学研究資料館・研究部・教授 (62608) | |
| 研究協力者 | 浅野 秀剛 (ASANO SYUGO) | 大和文華館・館長 | |
| 研究協力者 | 伊藤 善隆 (ITO ZENRYU) | 立正大学・准教授 | |
| 研究協力者 | 二又 淳 (FUTAMATA JUN) | 四川外国語大学 | |